

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

多くの地点の表層で29℃以上となっており、水深20mでも28℃以上となっている地点があります。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最大2細胞/mL確認されました。また、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が最大1細胞/mL、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が最大1細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が栄喜奥で0.06細胞/mL、青瀬山で0.08細胞/mL、ヒロウラで0.04細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属およびディノフィシス属は、主に二枚貝（食用を含む）毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、養殖魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属	ディノフィシス 属
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 藻津 (14.6m/36.7m) 【09:17】	0	28.9	33.7	6.7	0	0	0	0
	★ 5	28.8	33.8	6.7	0	0	0	0
	10	28.5	34.0	6.6	0	0	0	0
	15	28.2	34.0	6.6	-	-	-	-
	20	27.8	33.9	6.7	-	-	-	-
B 宇須々木 (13.4m/26.8m) 【09:11】	0	29.0	33.7	6.9	0	0	0	0
	★ 5	28.9	33.8	6.8	0	0	0	0
	10	28.6	34.0	6.6	0	0	0	0
	15	28.1	33.9	6.6	-	-	-	-
	20	27.7	33.9	6.6	-	-	-	-
C 大島中央 (16.6m/33m) 【09:26】	★ 0	29.0	33.3	6.6	0	0	0	0
	5	28.7	34.0	6.6	0	0	0	0
	10	28.5	34.0	6.6	0	0	0	0
	15	28.1	34.0	6.6	-	-	-	-
	20	28.0	34.0	6.6	-	-	-	-
D 小筑紫中央 (16.8m/48.9m) 【09:37】	★ 0	28.8	33.9	6.6	0	0	0	0
	5	28.7	34.0	6.6	0	0	0	0
	10	28.6	34.0	6.5	0	0	0	0
	15	28.5	34.0	6.2	-	-	-	-
	20	28.1	34.0	6.3	-	-	-	-
E 真珠 (11.5m/31.7m) 【09:00】	0	29.4	33.1	7.0	0	0	0	0
	5	28.5	33.9	6.7	0	0	0	0
	★ 10	27.8	33.9	6.9	0	0	0	0
	15	27.7	33.9	6.8	-	-	-	-
	20	27.6	33.9	6.8	-	-	-	-
F シラハエ (15.5m/37.9m) 【09:56】	0	29.0	33.8	6.6	0	0	0	1
	5	28.7	34.0	6.7	0	0	0	0
	★ 10	28.5	34.0	6.7	0	0	0	0
	15	28.3	34.0	6.8	-	-	-	-
	20	27.6	33.9	6.9	-	-	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	カレニア・ ミキモトイ	クロロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属	ディノフィシス 属
G 立石 (13.5m/23.7m) 【10:06】	0	29.2	33.6	6.9	0	0	0	0
	5	28.6	34.0	6.7	0	0	0	0
	★ 10	28.5	34.0	6.8	0	0	0	0
	15	28.4	34.0	6.8	-	-	-	-
	20	28.2	33.9	6.8	-	-	-	-
H 一切田 (9.5m/22.2m) 【10:30】	0	29.6	33.5	7.0	0	0	0	0
	5	28.5	33.8	7.4	0	0	0	0
	★ 10	28.3	33.9	6.8	0	0	1	0
	15	27.9	33.9	7.1	-	-	-	-
	20	27.7	33.8	7.1	-	-	-	-
I 栄喜奥 (9.2m/12.3m) 【10:15】	0	29.2	33.6	7.1	0	0	1	0
	5	28.3	33.8	7.3	0	0	0	0
	★ 10	28.2	33.9	7.1	0	0	0	0
J ヒロウラ (9.6m/25.1m) 【10:40】	0	29.7	33.1	6.9	0	0	0	0
	★ 5	28.5	33.9	6.9	0	0	0	0
	10	28.4	33.9	6.8	0	0	0	0
	15	28.4	33.9	6.7	-	-	-	-
	20	28.1	33.9	6.9	-	-	-	-
K 青瀬山 (9m/16.6m) 【10:23】	0	29.9	33.3	6.9	0	0	0	0
	5	28.7	33.8	7.2	0	0	0	1
	★ 10	28.2	33.9	7.1	2	0	0	0
	15	27.9	33.8	7.4	-	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

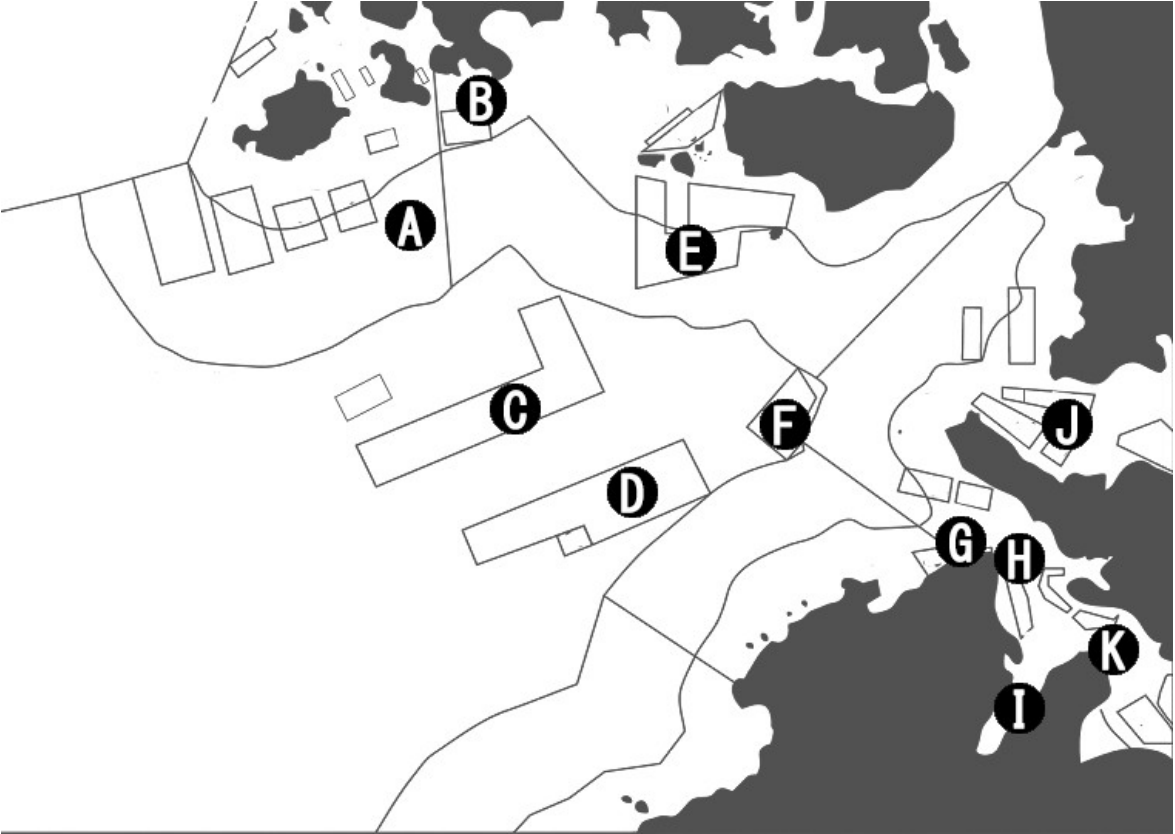
プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	3～5月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 藻津

B: 宇須々木

C: 大島中央

D: 小筑紫中央
- E: 真珠

F: シラハエ

G: 立石

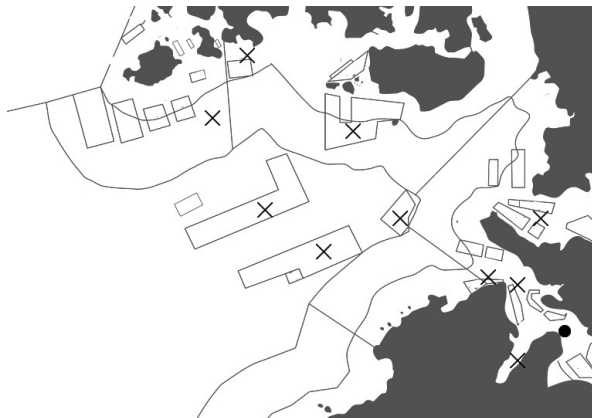
H: 一切田
- I: 栄喜奥

J: ヒロウラ

K: 青瀬山

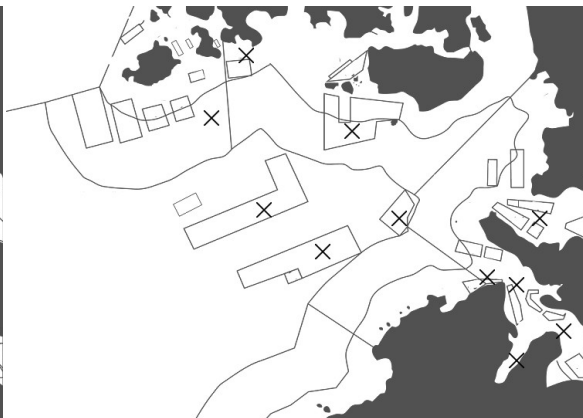
カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



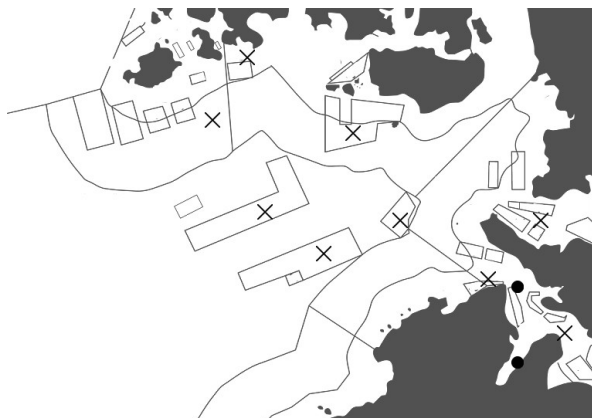
コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



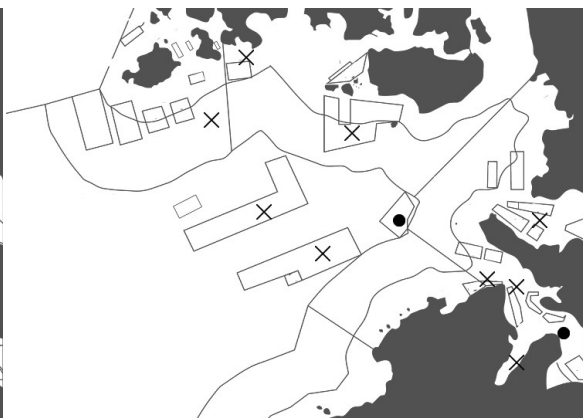
アレキサンドリウム属

最大細胞密度



ディノフィシス属

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

×

1~9

●

10

○

100

○

1,000

○

10,000

○

100,000

○

300,000

○

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

